

びわ北小学校からの報告

活動団体名： 長浜市立びわ北小学校 4年生

活動人数： 22人（教員2名）

取組時間：総合の時間

調査内容 1回目：6月1日（水） 上八木の中川 晴れ 2回目：10月4日（火） 早崎ビオトープ 晴れ

6月1日に上八木町の川で観察会を行いました。水生生物に詳しい地域の方を講師に迎え、採取の方法や観察の方法について説明を聞きました。

水網で川底をすくい、水を入れたバケツに入れると、多くの水生生物がとれました。楽しく活動し、様々な生き物に触れることができました。学校に戻り観察会のまとめをし、びわ地域の川の水に目を向けるよい機会になりました。

6月23日に地域の専門家の方に来ていただき、早崎ビオトープの歴史や自然について詳しく教えていただきました。早崎ビオトープは、水深が年々深くなってきており、中に入って生き物をとるのは難しくなりました。そこで、地域の専門家の先生に教わりながらペットボトルで作る「びんづけ」というしかけを作りました。6月28日に現地で調査をしました。当日は、中に入って調査をしたり、しかけておいたびんづけを引きあげたりしました。水網やびん



づけの中にはモツゴやスジエビの赤ちゃん、ヨシノボリなどがたくさん入っていました。

調査員の感想

- ・身近な川にもたくさんの生き物がいることがわかった。川底に石や小石、どろがあった。
- ・水の中よりも、川底にたくさんの水生生物がいることがわかった。
- ・水生生物は、思っていたより小さくてかわいかった。
- ・水路の方は川の水が汚くどろもたくさんあり、「大変よごれている」の階級のイトミミズもいた。

捕まえた生き物たち

ニンギョウトビケラ、ツツトビケラ、カワトビケラ、サホコカゲロウ、ヘビトンボ、シジミ、カワニナ、サカマキガイ、スジエビ、オタマジャクシ、カワヨシノボリ、ドジョウ、アメリカザリガニ、ユスリカ、タニシ、イトミミズ、ヌマエビ、ヤゴ、ギンブナ、ガムシ、ブルーギル、ウシガエル

調査のまとめ

総合的な学習の時間において水生生物調査を行いました。河川の水環境の学習は、6月上旬に学区内の上八木町を流れる川の観察を行いました。去年とは異なる地点で水生生物の観察を行い、川や水の様子・生物について調べました。また、学区内にある早崎ビオトープの水環境や自然の変化を観察しながら学習を進めてきました。児童のふりかえりから

- ・それぞれの水的环境にあった水生生物や生き物がいた。
- ・環境が変わってしまうと育ちにくなる生き物もある。
- ・地域の人の努力で、ビオトープというすばらしい自然ができた。
- ・これからも自然を大切にし、自分たちにできることを考えたい。

活動の様子

【調査の説明を聞きます】



【調査開始】



【観察会】



【調査の仕方を教えていただきました】



【仕掛けを回収】



【協力して採取しました】



【ピオトープのお話を聞きました】



【船に乗りました】

